

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		平成 30 年度 家庭と連携しながら、伝える力を広げるiPadの活用-コミュニケーションの活用に向けた土台づくり-
授業について	教科名等	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input checked="" type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	自分の思いを伝えよう
	授業の目標	○自分の考えや伝えたい思いなどを文で書く ○文字や言葉で人に伝える言葉を高める
	学力の3要素	■「知識及び技能」 ■「思考力・判断力・表現力等」 ■「主体的に学習に取り組む態度」
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 小学生 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない 中学部1年 4人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input checked="" type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input checked="" type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子供の困難さ	<input type="checkbox"/> 見ること <input type="checkbox"/> 聞くこと <input checked="" type="checkbox"/> 話すこと <input checked="" type="checkbox"/> 読むこと <input checked="" type="checkbox"/> 書くこと <input type="checkbox"/> 動くこと <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションをすること <input type="checkbox"/> 気持ちを表現すること <input type="checkbox"/> 落ち着くこと・集中すること <input type="checkbox"/> 概念(時間、大きさ等)を理解すること <input type="checkbox"/> 学習(計算、推論等)すること <input type="checkbox"/> その他 ・文章を一人で作ることができず、写真を撮り、その物だけを文字で打ち込んでいた。 ・自分の思いを表現するために、教員や保護者が「楽しかった」等の気持ちを表す文を付け加えるよう伝える。
支援機器等教材の活用について	活用の意図	Aコミュニケーション支援(■A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(■B1情報入手支援 ■B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input type="checkbox"/> C1教科学習支援 ■C2認知発達支援 ■C3社会生活支援) D実態把握支援(<input type="checkbox"/> D1実態把握支援) 1)自立活動の時間に、iPadの基本的な使い方やPhontoのアプリを使って学習する機会を設ける 2)家庭でも活用していけるように、Phontoを使い、日記を書く宿題を行う
	使用した支援機器等教材の名称と画像	○iPad ○アプリ:Phonto 
授業展開	授業展開・支援の手立て	・iPadのPhontoのアプリの使い方を理解し、一人で操作することができるようになった。 ・定型文を見て文章を作ることが多かったが、自分で文を考えることができるようになった。 ・学級活動での発表場面(休日にしたこと)で、日記を見せながら自信を持って発表する姿につながった。また、友達との会話の手立てとしても活用することができた。
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	・発音が不明瞭なため、今後コミュニケーションの方法としても支援機器を検討していかなければならない。日常生活への活用への第一歩として、日常の出来事を文字で伝える学習を積み重ねることで機器の使い方を習得し、補助的な手段として活用していくことができたらと考える。